



はじめに

「食」は命の源であり、おいしく楽しく食べることは、心豊かな生活の実現に大きく寄与するものです。

宇和島市では宇和島市食育プラン〔第2次〕のもと、関係機関等と連携しながら食育を推進してきました。しかしながら、依然、朝食欠食や野菜摂取不足等の食習慣の乱れがみられ、学童期から健康問題が生じ、成人においては、生活習慣病の重症化等により医療費も増大しています。また、市には豊富な地場産物や、郷土に結びついた古くからの食文化があるのにもかかわらず、世代によって価値観が変化してきています。新たに、食べ残し等による食品の廃棄、食の安全・安心への不安も課題となってきました。これらを改善していくためには、ライフステージに応じたあらゆる世代への取組が必要になってきます。

第2次計画の期間が満了することから、国や県が策定した食育計画を参考とし、関係機関の協力を得て、評価指標の達成状況や各事業の実施状況を評価して計画の見直しを行い、宇和島市食育プラン〔第3次〕を策定しました。

第3次計画では、第2次計画の理念を継承し、新たな課題に市民一人一人が主体的に取り組めるよう支援します。また、地域の特性を活かしながら、行政や生産者、事業者、自治組織及びボランティア組織等が連携を図り、食育の実践の輪が広がるよう推進してまいります。

終わりに、計画策定にあたり御協議いただきました関係機関の皆様方をはじめ、食育の推進に御支援いただいた方々に厚くお礼申し上げます。

平成30年3月

宇和島市長 岡原文彰